公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

R8年熊本地震
活動報告

倉敷中央病院
救急科　山下 貴弘

公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

活動チーム概要・派遣期間

DMATコーディネーションチーム１次隊
山下・橋本Ns・寺尾Lgの3名で派遣

派遣期間：7/30～8/2
活動場所：熊本県央南DMAT活動拠点本部
（済生会熊本病院内）



熊本県央南DMAT活動拠点本部（済生会熊本病院内）

公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院





公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

＜DMAT調整本部管轄＞
県北圏域
荒尾市、長洲市、玉名市、山鹿市、合志市、菊池市、
南関町、和水町、玉東町、大津町、菊陽町）
天草圏域
（上天草市、天草市、苓北町）
阿蘇圏域
（阿蘇市、高森町、小国町、南小国町、産山村、西原村、南阿蘇村）

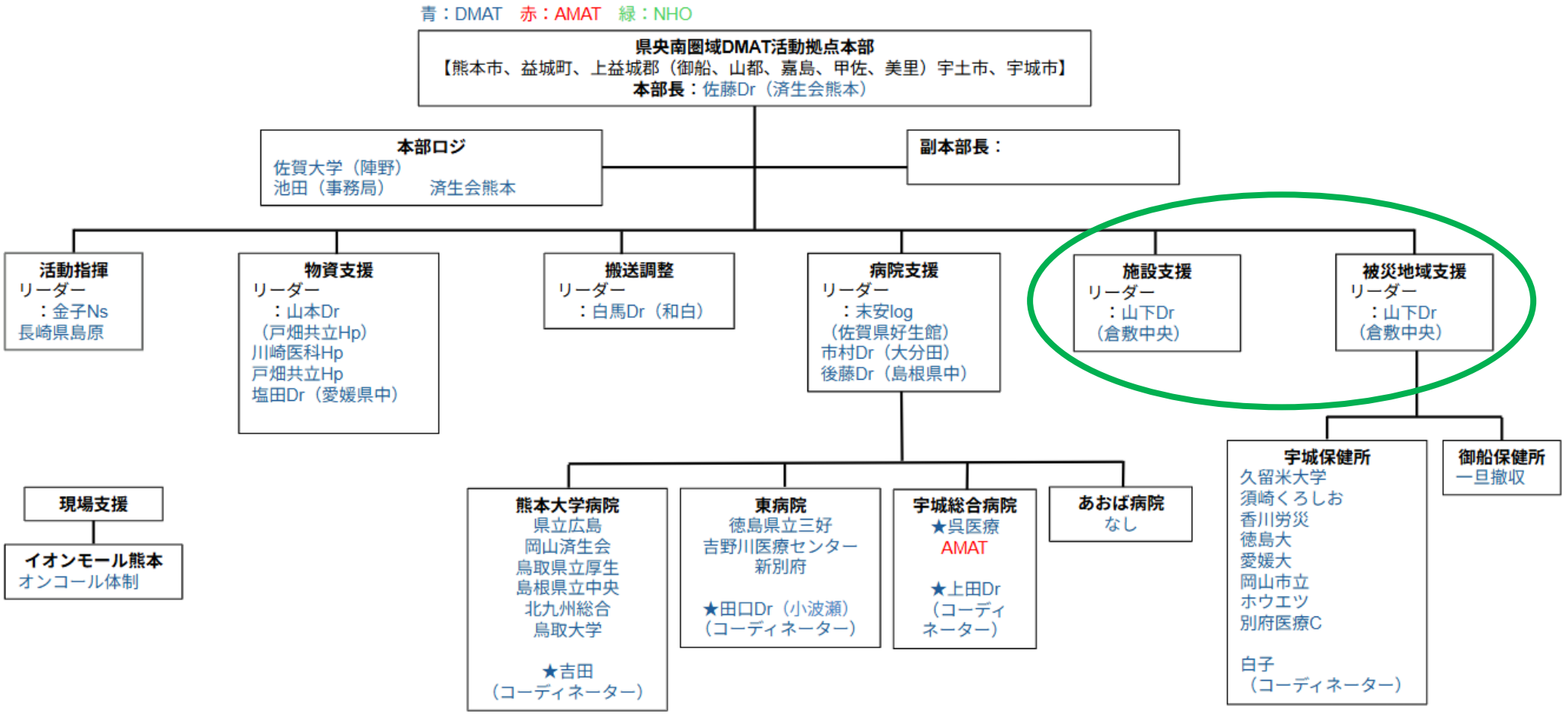
＜県央南活動拠点管轄＞
県央南圏域
（熊本市、宇土市、宇城市、益城町、嘉島町、御船町、山都町、甲佐町、美里町）

＜県南活動拠点管轄＞
県南圏域
（八代市、水俣市、人吉市、氷川町、芦北町、津奈木町、あさぎり町、錦町、湯前町、多良木町、五木村、相良村、球磨村）



公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

活動拠点本部本部内組織図



公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

具体的な活動内容

施設支援・地域支援班の立ち上げから初動の本部内運営

福祉施設・避難所・診療所の被害状況調査
給水要請・物資調達・診療ニーズへの対応

他機関との連携（保健所・日赤救護班・医師会など）

公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

施設・地域支援班　組織図

施設・地域支援リーダー

山下（倉中チーム）

リーダー補佐

大阪急性期　吉田Lg

宇城保健所

関西医大　梶野Dr

鳥取医大　和田Dr

久留米大　白子Ns

前線拠点設置

御船保健所

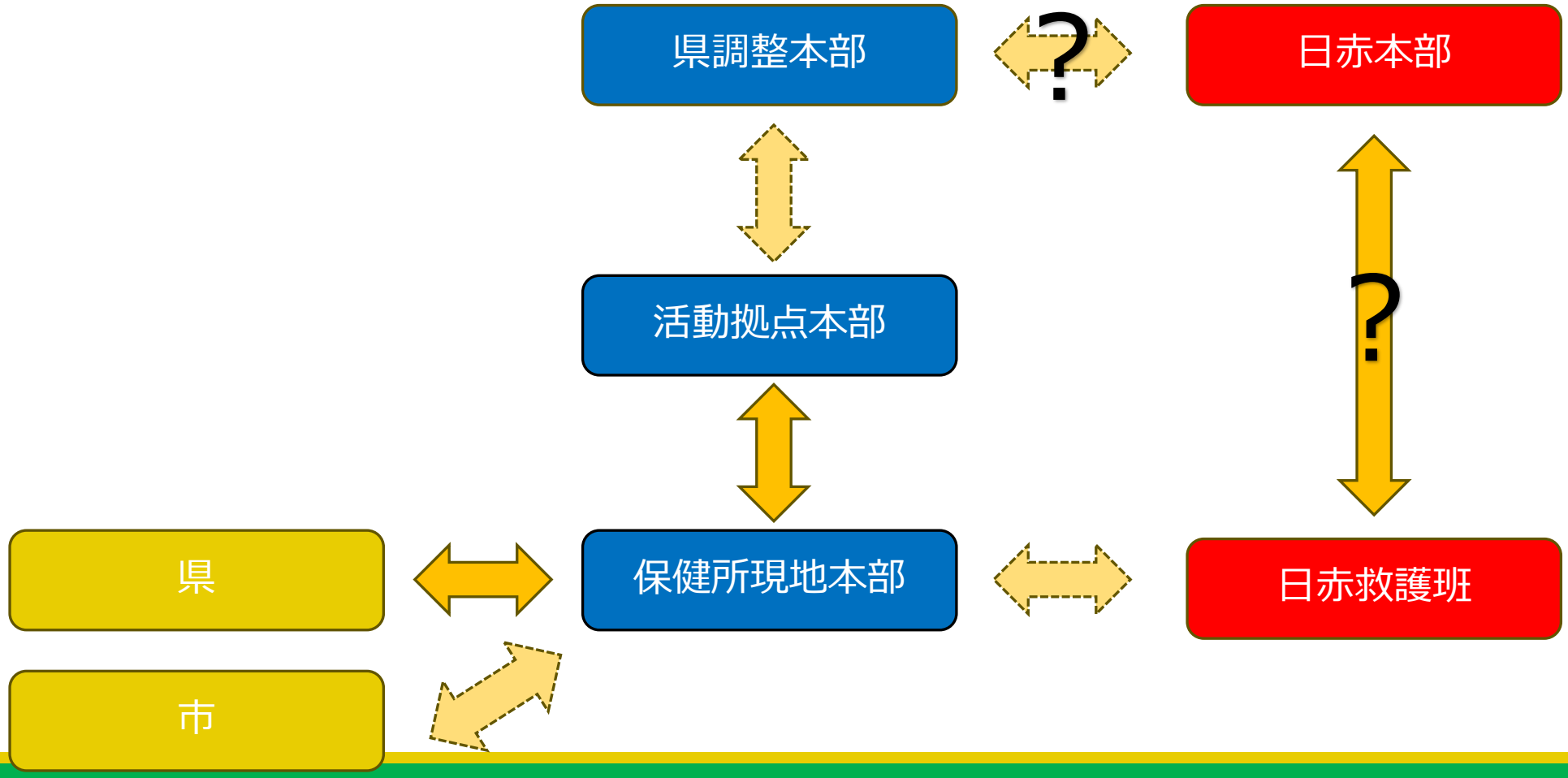
山口大　綾田Dr

連日訪問し情報収集



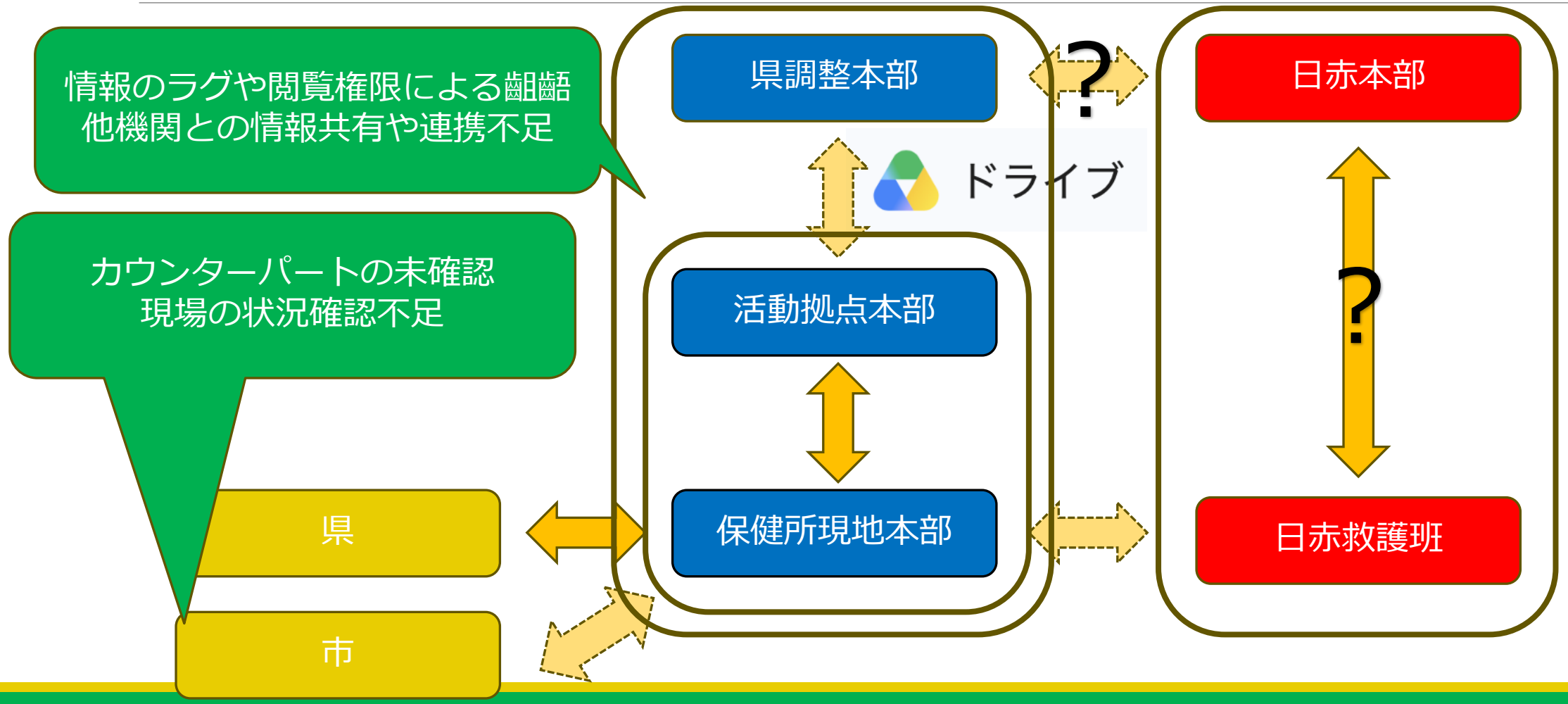
公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

困ったこと　情報の共有と連携



公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

困ったこと　情報の共有と連携



公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

今回の活動を終えての提言

福祉施設・地域支援は初動から行政やDMAT以外の医療班による介入が始まるため、現場レベルでも早期に連携できる体制を構築しておくことが望ましい。

行政のカウンターパートの可視化（担当部局の明示）をDMAT側で平時から行っておく。

県⇄地域⇄現場、多機関間の縦と横での情報共有が鍵を握るため使用するツールを含め検討しておく必要がある。

公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

後方支援に関して

当院職員・県内DMAT・医療推進課の皆さまをはじめ、後方支援に携わって頂いた方々に改めて感謝を申し上げます。

派遣だけがDMATの任務ではない。

支援してくれる方がいるから100%の力で支援に臨める。

ALL岡山で災害対応できる関係づくりを今後もより強固にしていきましょう！



